

開放科目の履修について (2026年度春学期版)

1. 開放科目とは？

「英語教育学イニシアティブ・プログラム (TEFL-IP)」のプログラム生であるみなさんが所属大学以外の大学院で履修・聴講可能な科目です。原則対面の実施ですが、一部ハイブリッド形式の授業もあります。みなさんの興味にあった授業や、他大学の先生・学生との交流を目的に、積極的に活用しましょう！

2. 開放科目の確認について

開放科目の一覧は以下のURLから確認できます。

https://www.tufs.ac.jp/documents/education/pg/exchange/TEFL-IP2026_subjects.pdf

また、授業の詳細は各大学のシラバス検索機能を使用してください。検索サイトのURLは科目一覧PDFの中にあります。

3. 履修・聴講の違いについて

「履修」と「聴講」の違いは以下の通りです。

【履修】単位の取得を目的とし、所属大学での単位認定を含む。

【聴講】単位の取得を目的とはせず、授業に参加する。

※「聴講」の場合、学生証の発行や図書館利用等はできません。システムの利用アカウント発行については、東京外国語大学では可能、筑波大学では希望すれば可能です。

4. 履修・聴講の流れ

オンデマンド科目か通常の科目かで、履修・聴講の流れが変わります。

<オンデマンド科目以外>

自分の所属大学以外の大学院で開講される科目を履修・聴講する場合、履修期間内（4月13日まで）にGoogleフォームで「仮登録」を行ってください。**みなさんにやっていただくのは「仮登録」のみです。**各大学のTEFL-IP事務にてみなさんの希望を把握し、大学間で履修・聴講の可否を確認します。履修・聴講が認められた場合、各大学の教務課が「本登録」いたします。

【「仮申請」フォーム】 <https://forms.gle/EcNzosjMN6aC8Qr48>

※所属大学の科目はGoogleフォームでの申請は不要です。ご自身で履修登録をしてください。

<オンデマンド科目の場合>

オンデマンド科目は東京外国語大学でリカレント教育プログラムの「英語学・英語教育学13」として開講されています。「履修」の場合は、**所属大学によらず、全員が**指導教員の許可を得てから、**受講届**を履修期間内（4月13日まで）にtefl-ip@tufs.ac.jp宛てに提出してください。「聴講」の場合、指導教員の許可は不要ですが、「受講届」の提出は必要です。

【受講届】以下のリンク先に、PDFとWord両バージョンがあります。

<https://www.tufs.ac.jp/education/pg/exchange/tefl-ip/index.html>

連絡先：東京外国語大学TEFL-IP事務室 tefl-ip@tufs.ac.jp